

## マレーシアとインドネシアで採ったハエトリ

池田博明・中島晴子

1993年12月23日から1994年1月8日まで、中島はシンガポール、マレーシア、インドネシアを訪問したが、その際に採集したハエトリ2種を紹介する。マレーシアのジョホールで採ったクモはムツボシハエトリ *Bavia sexpunctata* (Doleschall 1859) ♀で、日本でも西表島から谷川明男によって報告されている (Tanikawa, 1993)。インドネシアのプロウスリブで採ったクモは *Hyllus* sp. ♂で最も大きなハエトリグモの仲間である。

ムツボシハエトリ *Bavia sexpunctata* (Doleschall 1859) ♀ (Figs. 1-3)

体長12程度の大型種である。背甲が円形で、腹背に8個の黒点が目立つ（そのうち6個が大きい）。背甲と第1脚は黒褐色、ほかは灰色である（液浸標本の場合）（図1）。第1脚の脛節 (tibia) と蹠節 (metatarsus) の刺 (spine) は特異な形態をしている。基部でいったん分かれているのである。丁番の端に羽根状の刺がくっついているように見える（図2）。この刺の特異さは Tanikawa (2003) にも Berry et al. (1997) にも記述されていないが、ほかの属では見たことがない。図2は右第1脚の前側面を描いた。外雌器は下方に交尾孔がある（図3）。

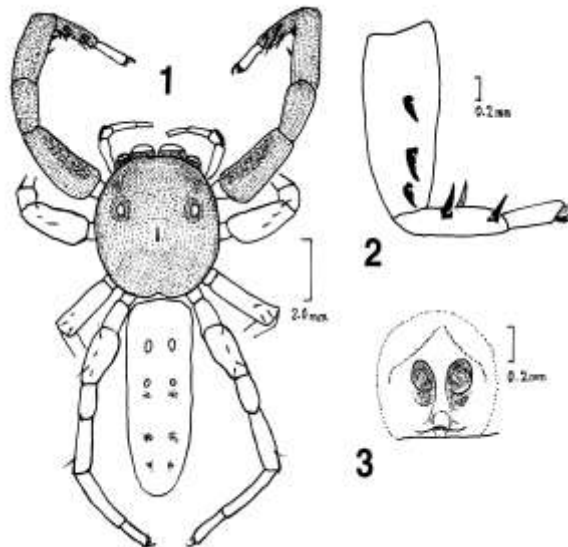


図 1-3 ムツボシハエトリ 1 雌の外観 2 右第1脚 前側面観 3 外雌器

Figs. 1-3. *Bavia sexpunctata* Fig.1 female appearance, 2 right first leg, prolateral view. 3 epigynum.

*Hyllus* sp. ♂ (Figs. 4-6)

体長約 20mm の超大形種である (図 4) . 大形で♂なので, 同定可能と予想したが, インドネシアでは複数種が記録されているし, 触肢の構造の識別点が曖昧で, RTA の形だけからでは不確実と思えるため同定不能だった (図 5-6) .

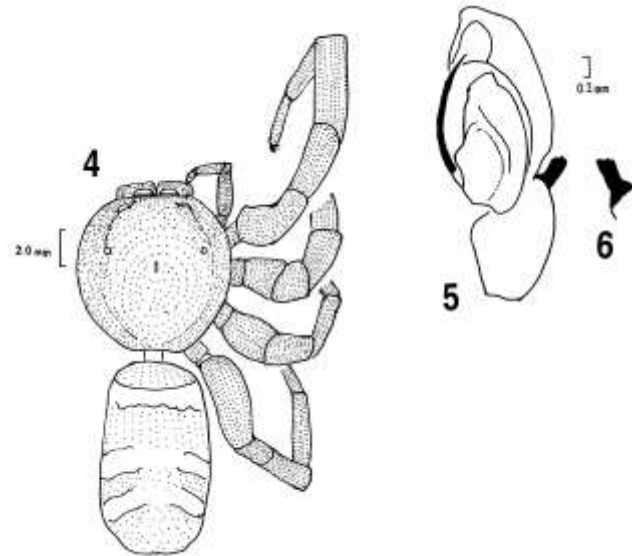


図 4-6 *Hyllus* sp. 4 オス外観 5 オス触肢 (腹面観) 6 RTA (後側面観)

Figs. 4-6 *Hyllus* sp. 4 male appearance. 5 male palp, ventral view. 6 RTA, retrolateral view.

参考文献

- Berry J. W., Beatty J. A. & Prószyński J. 1997. Salticidae of the Pacific Islands. II. Distribution of New Species. *Journal of Arachnology*, 25:117-1183  
Prószyński J. 2012. Monograph of the Salticidae (Araneae) of the World 1995-2011. On internet. <<http://www.miiz.waw.pl/salticid/main.htm>>  
Tanikawa A. 1993. Two Newly Recorded Spiders from Japan, *Bavia sexpunctata* (Doleschall, 1859) and *Rhene setipes* Żabka, 1985. *Acta arachnologica*, 42: 13-19.